

新宿区人口ビジョン（改訂版）（素案） ・  
第二期新宿区総合戦略（素案）に関する  
パブリック・コメントにおける意見要旨と区の考え方

令和3（2021）年1月  
新 宿 区



## 【目 次】

- 1 パブリック・コメントの実施結果 概要  
..... 1
  
- 2 新宿区人口ビジョン（改訂版）（素案）・  
第二期新宿区総合戦略（素案）に関する  
パブリック・コメントにおける意見要旨と区の考え方  
..... 3



# 1 パブリック・コメント実施結果 概要

## 1 実施期間

令和2年10月15日（木）から11月16日（月）まで

## 2 意見提出者数および提出方法

意見提出者 5名・団体

ホームページ	3名・団体
持参	2名・団体
ファックス	0名・団体
郵送	0名・団体
合計	5名・団体

## 3 意見数および意見の計画への反映等

意見数 92件

意見項目の内訳		件数	該当No.
1	人口ビジョン 「位置づけ」に関する意見	3件	No. 1～3
2	人口ビジョン 「Ⅰ 人口の現状分析」に関する意見	15件	No. 4～18
3	人口ビジョン 「Ⅱ 将来推計人口」に関する意見	11件	No. 19～29
4	人口ビジョン 「Ⅲ 人口の将来展望」に関する意見	4件	No. 30～33
5	総合戦略 「Ⅰ 基本的な考え方」に関する意見	8件	No. 34～41
6	総合戦略 「Ⅱ 新宿区総合戦略の基本目標 ～新宿区の地域特性から見た新宿区総合戦略の方向性～」に関する意見	42件	No. 42～83
7	総合戦略 「Ⅲ 目標の実現に向けて」に関する意見	1件	No. 84
8	総合戦略 「Ⅳ 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）」 に関する意見	8件	No. 85～92

意見の計画への反映等

A	意見の趣旨を計画に反映する	31件
B	意見の趣旨は、素案の方向性と同じ	6件
C	意見の趣旨に沿って計画を推進する	0件
D	今後の取組の参考とする	1件
E	意見として何う	32件
F	質問に回答する	12件
G	その他	10件
	合計	92件



## 2 新宿区人口ビジョン（改訂版）（素案）・ 第二期新宿区総合戦略（素案）に関する パブリック・コメントにおける意見要旨と区の考え方

令和2年10月15日（木）から11月16日（月）にかけて実施した、新宿区人口ビジョン（改訂版）（素案）・第二期新宿区総合戦略（素案）に関するパブリック・コメントにおける、意見要旨及び区の考え方をまとめたものです。

○意見数 92件

《記載内容は、以下の項目を設け整理しています。》

項目	説明
【意見区分】	頂いたご意見の内容が、人口ビジョン（改訂版）（素案）または第二期新宿区総合戦略（素案）のどの部分に対するご意見であるか示しています
【意見要旨】	基本的には、原文を記載していますが、誤字脱字の修正及び文章の要約を行っています。
【区の考え方】	頂いたご意見のうち、素案の施策の方向性に関するものについては、区の考え方を示しています。（計画への反映等については、A～Gで示しています。A～Gの分類については、パブリック・コメント実施結果概要（P.1）をご確認ください。）

No.	意見区分		意見要旨	区の考え方
1	人口ビジョン	位置づけ	P1の記載 位置づけは、長文で多岐にわたって多くの事が記載されている。 改訂の目的、経緯、位置付け、対象期間と副題を付けて、分かり易く記載する検討をお願いしたい。	A ご意見を踏まえて修正します。 なるべくわかりやすい内容・構成・表記にします。
2	人口ビジョン	位置づけ	P1の記載 位置づけの中で、人口ビジョンと別途作成された総合戦略計画との関連について、以下について記して頂きたい。 「人口ビジョンは、国の長期ビジョンを勘案して策定し、まち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策を企画立案する上で、重要な基礎と位置付けられるものです。したがって新宿区人口ビジョンは、国の長期ビジョンを勘案した上で将来の展望を示すものとして、新宿区総合計画とは、整合を図るものの、これとは別の位置付けとします。」	A ご意見を踏まえて修正します。 1番のご意見を踏まえ、国の長期ビジョンと人口ビジョンとの関係については、なるべく分かりやすい表現に修正します。 なお、本人口ビジョンと併せて策定される総合戦略には、『具体的な施策の内容や数値目標について』、新宿区総合計画と整合を図る旨記載しております。一方、人口ビジョンは、計画として具体的な施策や数値目標を示す性質のものではありません。 このため、人口ビジョンの「位置づけ」には総合計画との関連は記述しません。
3	人口ビジョン	位置づけ	P1の記載 対象期間が記載されていない。2065年か。P23の将来推計人口の推計期間を2065年と記されているが、本書冒頭に記されるべきと思う。	A ご意見を踏まえて修正します。 冒頭に対象期間を記載します。
4	人口ビジョン	I人口の現状分析	P2の記載 国勢調査人口の箇所で、「2015年は、2010年に比べ5年間で約7千人増加」と記されている。2010年と2005年の5年間で、約2万人増加しているのに対し、増加傾向が鈍化している等の観点から、人口動向に関し記述してほしい。	E ご意見として伺います。 総人口の増加率が低下している要因は、外国人で、日本人の増加率はむしろ上昇しています。そのため、人口の増加率が低下していることを全体の傾向として特筆することはありません。 P.3の「月別住民基本台帳人口」で、最近の人口増加の傾向について、日本人外国人別に記述しています。 このため、記述はそのままとします。
5	人口ビジョン	I人口の現状分析	P2の記載 住民基本台帳人口の箇所で、「日本人は2001年以降一貫して増加している。」と記されている。2001年は2000年の誤記か。（H28年1月作成の人口ビジョン報告書では、2000年と記されている。）	G ご意見を踏まえて修正します。 前回の人口ビジョンと同様の表記方法に変更します。
6	人口ビジョン	I人口の現状分析	P3の記載 月別住民基本台帳人口について記されている。内容は「2020年において、新型コロナの影響により、外国人の減少が顕著であった件」である。 表題と中身の主題内容が合わないため、検討してほしい。	E ご意見として伺います。 文中では、2020年以前の人口の動きにも言及しています。 このため、表題はそのままとします。
7	人口ビジョン	I人口の現状分析	P3の記載 月別住民基本台帳人口について記されている。内容は「2020年において、新型コロナの影響により、外国人の減少が顕著であった件」である。 P21の人口の現状分析の中で、記載する事も検討してほしい。	E ご意見として伺います。 2020年に入ってから人口動向については、年別のデータが揃っていないため、人口ビジョンの中では補足的に扱っています。 このため、P.21の「まとめ」には記載しません。



No.	意見区分		意見要旨	区の考え方
8	人口ビジョン	分 I 析 人 口 の 現 状	P4の記載 下記の年号はそれぞれ下記と思うが確認してほしい。 (1) 1960年 → 1955年 (2) 1970年 → 1965年 (3) 1955年 → 1950年	G ご意見を踏まえて修正します。 前回の人口ビジョンと同様の表記方法に変更します。
9	人口ビジョン	分 I 析 人 口 の 現 状	P4の記載 図表5において、2000年の帯グラフ部分を太線で囲っているが、1995年部分を太線で囲うのが適切なのではないか。	G ご意見を踏まえて修正します。 太線を適切な位置に修正します。
10	人口ビジョン	I 人 口 の 現 状 分 析	P5～21の記載 人口の現状分析結果が、詳細すぎないか。必要か。 下記の(1)～(3)を考慮し、読み易い（行間の工夫、簡条書きでの記述、副題の挿入）、分かり易い報告書を作成してほしい。 研究所レポート2017NO1「2015年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計」の方が、読み易い。 (1) P21の人口の現状分析結果のまとめの中で記載ない分析の図表のものは省いてほしい。 (2) 「将来推計人口」のために必要でない、詳細の分析は不要である。 (3) 「人口の将来展望」に関わらない、詳細な人口分析は不要と思う。 ここまでの詳細分析を記載するために、読み易さが犠牲になっている。	A ご意見を踏まえて修正します。 人口の将来展望を示すためには、現状分析を行って新宿区の人口の特徴を示す必要があります。新宿区の人口動態には、推計に直接関わらない部分でも、大きな特徴がいくつかありますので、将来展望を検討する上で、それらを加味しています。 その中でもなるべく読みやすく、分かりやすい文章になるよう、内容・構成・表記方法を工夫します。
11	人口ビジョン	析 I 人 口 の 現 状 分	P12の記載 「②2019年の移動率」と表題に記されているが、移動率と表題に記されているので、移動率を示してほしい。	A ご意見を踏まえて修正します。 「移動率」には様々な種類があり、ここでは（各歳別）転入率・転出率・転入超過率を指しています。分かりやすくするため、表題を「各歳別移動率」に修正します。
12	人口ビジョン	分 I 析 人 口 の 現 状	P12の記載 「②2019年の移動率」と表題に記されているが、全人口に対する移動者数（転入者・転出者）の比率と定義されると、人口統計学で記されている。ここで記されている移動率とは、転入率、転出率、転入超過率を総称して移動率と称しているのか。	A ご意見を踏まえて修正します。 「移動率」には様々な種類があり、ここでは（各歳別）転入率・転出率・転入超過率を指しています。分かりやすくするため、表題を「各歳別移動率」に修正します。
13	人口ビジョン	析 I 人 口 の 現 状 分	P13の記載 「（2）住民基本台帳人口移動報告による分析（日本人のみ）」と表題に記されている。 本文を読むと分かるが、表題を「（2）総務省の住民基本台帳人口移動報告に基づく分析」等に分かり易く記載してほしい。	A ご意見を踏まえて修正します。 分かりやすくなるよう、文章の構成を変更します。

No.	意見区分		意見要旨	区の方え方
14	人口ビジョン	I 人口の現状分析	P13の記載 下記の文章のうち、下線を付けた前置き文章は、他に見られない。再考してほしい。 「①新宿区の転入元・転出先・転入超過地域 これまでの分析で、新宿区には若年期を中心に外国人が多く、人口移動も外国人の影響が強いことがわかった。次に、総務省の住民基本台帳人口移動報告に基づき、日本人についての2019年の移動データの分析結果を示す（図表29・29）。」	A ご意見を反映します。 ご指摘を踏まえ、文章の構成を変更します。
15	人口ビジョン	I 人口の現状分析	P14の記載 「②年齢5歳別転入・転出・転入超過人口」の箇所において、「特に0～4歳（406人）の転出超過が目立つ」と記載されている。60歳以上では585人（144+85+94+73+62+127）の転出超過です。0～4歳（406人）の転出超過より多いので、記載の再考願います。	E ご意見として伺います。 5歳毎にみた数値ですので、60歳以上を合算して他の年代との比較はしていません。 このため、記述はそのままとします。
16	人口ビジョン	析 I 人口の現状分析	P15の記載 図表32の左標の○、△、●、△（二つ△あり）の凡例を正しく表示下さい。 ●は他道府県の市 ▲埼玉・千葉・神奈川県下の市	G ご意見を踏まえて修正します。 凡例を正しく修正します。
17	人口ビジョン	I 人口の現状分析	P17の記載 「配偶関係別割合の推移」や「年齢別未婚率の推移」は、ここまでの詳細な分析が必要なのか。P21のまとめにおいて、特別に記載はないし、のちの章で必要なのか。再考してほしい。	E ご意見として伺います。 人口の将来展望を示すためには、現状分析を行って新宿区の人口の特徴を示す必要があります。 新宿区の人口動態には、推計に直接関わらない部分でも、大きな特徴がいくつかありますので、将来展望を検討する上で、それらを加味しています。 このため、記述はそのままとします。
18	人口ビジョン	析 I 人口の現状分析	P19,20の記載 「区民」、「新宿区民が就業する産業」と区民の言葉が使用されている。 ここで用いられている「区民」は、新宿区に居住する区民を対象とする旨の注記をしてほしい。	A ご意見を踏まえて修正します。 なるべく分かりやすい表現に修正します。
19	人口ビジョン	II 将来推計人口	P22～25の(4)の記載 P21の注釈欄に、研究所レポート2017NO1「2015年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計」を参照されたいとの意味の注釈が記されている。同研究所レポートの方が、「将来推計人口」の表題後の前書き、「推計の方針」、「推計手法」と分かり易く説明されている。 P22～P25（4）まで、分かり易く、丁寧に、簡潔に記述する事を是非再考してほしい。	E ご意見として伺います。 推計手法については、ある程度の部分までは研究所レポートを参照せずに済むように記載しています。 このため、記述はそのままとします。

No.	意見区分		意見要旨	区の考え方
20	人口ビジョン	Ⅱ 将来推計人口	P22～25の(4)の記載 P 2 5 ( 4 ) には、「研究所レポート2017No.1「2015年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計」に記載とある。したがって、P 2 2 ～ P 2 5 ( 4 ) までは、P 2 2 の冒頭で「研究所レポート2017No.1「2015年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計」に掲載と記述され、研究レポートの要約を記載した方が良いのではないかと。再考してほしい。	E ご意見として伺います。 推計手法については、ある程度の部分までは研究所レポートを参照せずに済むように記載しています。 このため、記述はそのままとします。
21	人口ビジョン	Ⅱ 将来推計人口	P 2 2 で、コーホートシェアの説明には、研究所レポートの P 1 1 の図表 2 - 1 が必要ではないか。本書の様に文章だけでは、理解できない。再考してほしい。	E ご意見として伺います。 研究所レポートP.11の図表2-1は、全国の人口が減少し、少子高齢化が進むことを示すグラフです。紙面の都合上省略しています。 このため、グラフは掲載しません。
22	人口ビジョン	Ⅱ 将来推計人口	P22～25の(4)の記載 コーホートシェア延長法による人口推計において、用いたパラメータ（出生率、出生性比、コーホートシェア）を簡潔に記載してほしい。	E ご意見として伺います。 各種パラメータは量が多く、簡略化も難しいため、人口ビジョンでは省略しています。研究所レポート2017No.1の「参考資料」に一部記載しています。 このため、記述はそのままとします。
23	人口ビジョン	Ⅱ 将来推計人口	P25の記載 前回推計手法との比較を記載されているが、研究所レポートの P 2 4 に記載されている様に、前回推計結果との比較の方が重要と思う。手法比較は、要約記述され、推計結果の比較は P 2 7 の注釈 3 2 の様な記載ではなく、本文中に記載する様に再考してほしい。	E ご意見として伺います。 推計手法の比較や検討は研究所レポート2017No.1で行っていますので、人口ビジョンでは詳しく言及していません。 このため、記述はそのままとします。
24	人口ビジョン	Ⅱ 将来推計人口	P25の記載 前回推計手法は、妥当であったかどうか記載してほしい。 「人口－住宅モデル」の適用は、富久町のタワーマンション建設等の急激な転入増加や、都心回帰の現象をモデル化した、人口推計モデルと思われる。社人研では、人口推計にそもそもモデル式の導入を推奨していないのではないか。	E ご意見として伺います。 推計手法の比較や検討は研究所レポートで行っていますので、人口ビジョンでは詳しく言及していません。また、前回の推計に「住宅－人口モデル」を導入した経緯等については、前回の人口ビジョン及び研究所レポート2012No.2に記載しています。 このため、記述はそのままとします。
25	人口ビジョン	Ⅱ 将来推計人口	P25の記載 本ページの下の注釈 2 8 は、本ページの本文中に見当たらない。どここの説明か。	F ご質問にお答えします。 本文下から5行目の左端に注釈28があります。
26	人口ビジョン	Ⅱ 将来推計人口	P26の記載 2行目に「3つのシナリオを独自に設定して推計」と記されている。ここで「独自」とは、どのような意味か。コーホートシェア延長法を用いて人口推計されている他自治体とは違う、等の意味か。何が独自であるか示してほしい。	A ご意見を踏まえて修正します。 研究所レポート2017No.1ではシナリオを設定していなかったため、今回人口ビジョンを作成するにあたって「独自に」シナリオ作成したものです。分かりやすい表現に修正します。

No.	意見区分		意見要旨	区の考え方
27	人口ビジョン	口 II 将来推計人	P26の記載 「(参考) 合計特殊出生率」に注釈番号 28 が付されている。P 25 の 28 注釈の文章と対応するか。	G ご意見を踏まえて修正します。 P.26の注釈番号「28」は注釈番号「30」の誤りでした。正しい番号に修正します。
28	人口ビジョン	II 将来推計人口	P26の記載 「出生高位」の新宿区、全国の「(参考) 合計特殊出生率」は、どの様に算出したのか。 新宿区の0.87、0.939、0.944の設定方法を教えてほしい。	F ご質問にお答えします。 合計特殊出生率は母の年齢1歳別の出生率の合計です。今回は母の年齢5歳別の出生率で推計していますので、15～19歳出生率×5+20～24歳出生率×5+…+45～49歳出生率×5で計算します。全国も同様です。母の年齢5歳別の出生率は、全国は社人研の推計値、新宿区は全国との乖離が今後も継続するものと仮定して設定しています。 ・0.870 (2015年実績) ÷0.0099+0.0322+0.1252+0.3342+0.2894+0.0759+0.0029=0.8697 ・0.939 (2040年出生高位) ÷0.0159+0.0428+0.1574+0.3523+0.2708+0.0943+0.0053=0.9388 ・0.944 (2065年出生高位) ÷0.0160+0.0433+0.1577+0.3551+0.2718+0.0944+0.0053=0.9436 ※数値は四捨五入しています。
29	人口ビジョン	II 将来推計人口	P26の記載 「(参考) 合計特殊出生率」と記されています。ここで「(参考)」と記されている意味は何か。何に対する参考なのか。各シナリオの人口推計時のパラメータである合計特殊出生率を示したとの理解で良いか。記載を再考してほしい。	G ご意見を踏まえて修正します。 ここで掲載している合計特殊出生率は、あくまでも推計に使用した女性の年齢別出生率のパラメータを合計して算出した値であり、一般に言われる人口動態統計の合計特殊出生率とは異なるため、区別する意図を持って「(参考)」としたものです。しかし、その旨は注釈30にも記載していますので、「(参考)」は削除します。
30	人口ビジョン	展 III 人口の将来	P34の記載 文中に「そこで、将来展望人口の算出にあたっては、」と記されている。算出ではなく設定の意味か。	G ご意見を踏まえて修正します。 ご指摘を踏まえ、「設定」に修正します。
31	人口ビジョン	望 III 人口の将来展	P35の記載 「④0～4歳人口」とあります。この④は、②の誤記か。	G ご意見を踏まえて修正します。 ご指摘を踏まえ、正しい番号に修正します。
32	人口ビジョン	望 III 人口の将来展	P 3 6 の②は、③の誤記か。	G ご意見を踏まえて修正します。 ご指摘を踏まえ、正しい番号に修正します。

No.	意見区分		意見要旨	区の考え方
33	人口ビジョン	望Ⅲ 人口の将来展	P38の記載 図表73, 74の本文中の引用が見当たらない様に思える。P36の表の文章中の数値で、図表73, 74を引用しているか。	G ご意見を踏まえて修正します。 P.36の表の文章中の数値で、図表73, 74を引用している箇所があります。ご指摘を踏まえ、P.36に引用図表番号を追加します。
34	総合戦略	I 基本的な考え方	P.1の記載 国の長期ビジョン、総合戦略と地方の人口ビジョン、総合戦略との関係の見える化として、下図の様に理解できる様に工夫願いたい。 	A ご意見を踏まえて、記述します。 国の長期ビジョン、総合戦略と地方の人口ビジョン、総合戦略との関係が分かるように記述します。 
35	総合戦略	考Ⅰ え基本的な	P.1の記載 30ページ参照と記されている。3ページにも同様なものがありますが、どちらを参照するのか。	A ご意見を踏まえて、修正します。 30ページを参照していただくこととし、3ページの「まち・ひと・しごと創生法」の抜粋を削除します。
36	総合戦略	えⅠ 方基本的な考	P.1の記載 一期の新宿区総合戦略の成果と課題の検証の要約を記載してほしい。	B ご意見は素案に記述されています。 p1は、人口ビジョンと総合戦略の趣旨を説明しています。 新宿区総合戦略(2015～2019)の評価については(素案p32)に記述しています。
37	総合戦略	I 基本的な考え方	P.2の記載 第二期新宿区総合戦略の『「東京圏への一極集中」の是正』に関する記述は削除すべきではないでしょうか。新宿区民の転出をすることを許容するという意味にも解釈できます。また、そのために税金が投じられることになれば、新宿区の納税者を軽視していることとなります。自治の原則を重視し、不合理な税制も含めて一貫した対応が必要だと考えています。	E ご意見として伺います。 『「東京圏への一極集中」の是正』については、国の第2期総合戦略を説明する際に本文を引用したものであるため、表記は素案のままとします。 地方創生においては、東京の一人勝ちや、自治体間の競争により疲弊してしまうのではなく、日本全体として発展することが重要です。 「東京圏」については、集積のメリットを最大限に活かし、世界をリードする「国際都市」として発展することが期待されています。 このため、新宿区としては集客都市としての強みを活かしたまちづくりを推進していきます。 なお、不合理な税制については、引き続き、区長会等を通じてしっかりと主張していきます。
38	総合戦略	考Ⅰ え基本的な	P.2の記載 フローに表題として「国の長期ビジョン」及び「総合戦略」と記してほしい。	A ご意見を踏まえ、記述します。 「国の第2期総合戦略における施策の方向性」

No.	意見区分		意見要旨	区の考え方
39	総合戦略	I 基本的な考え方	P.3の記載 人口ビジョンは将来人口推計のみ行った様に記載されているが、「2015年の国勢調査を踏まえ、新宿区における人口の現状分析を行い、人口に関する地域住民の認識を元に、今後目指すべき将来の方向と国の長期ビジョンの趣旨を考慮し、新宿区の人口の将来展望を提示。」等と記載してほしい。	A ご意見を踏まえ、記述します。 「新宿区人口ビジョンは、2015年の国勢調査を元に新宿区における人口の現状分析を行い、人口に関する地域住民の意識を踏まえ、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示しています。」
40	総合戦略	I 基本的な考え方	P.3の記載 第二期新宿区総合戦略の対象期間は、令和2年度からとなっている。人口ビジョンと共に、昨年度に作成を行っておかなければならない計画であったと思うが、区の今後の取り組み等について、どこかに記して頂きたい。	E ご意見として伺います。 国の人口ビジョンと総合戦略が令和元年12月20日に策定され、同日に各自治体あてに策定依頼がありました。区はこれに基づき、人口推計や各種データの分析、学識経験者等からの意見聴取などの策定作業を行うことから、スケジュールを考慮して令和2年度中に策定することとしました。 なお、前回の策定時も同じスケジュールを進めています。 (平成26年12月27日に国の人口ビジョンと総合戦略が策定され、同日の各自治体あての策定依頼に基づき、翌年度の平成27年度に策定しています。) また、区の取り組みについては、「IV 具体的な施策と重要業績評価指標」に記述しています。
41	総合戦略	I 基本的な考え方	P.5の記載 まち・ひと・しごと創生法の右側のフロー部分は、国の長期ビジョン及び総合戦略、(都のもの)、新宿区人口ビジョン(改訂版)を記載する事が必要と思うので、再考してほしい。	E ご意見として伺います。 p5の関係図は、基本構想に基づく「総合計画」と、まち・ひと・しごと創生法に基づく「総合戦略」との関係性を主眼に説明したものです。 区の人口ビジョンと総合計画の関係はp7、28に、国や都の総合戦略との関係はp29に記述しています。
42	総合戦略	II 新宿区総合戦略の基本目標	P.6の記載 《2つの横断的な目標》以下、6行の文章では、国の(都の)第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(R1.12.20)に記載の「横断的な目標1、目標2」を踏まえた、新宿区の総合戦略が記載されていると理解できないので、6行の文章の再考してほしい。	E ご意見として伺います。 「横断的な目標1 多様な人材の活躍を推進する」については、住民のみならず区内で働くもの、学ぶ者、活動する者及び団体が役割を担うとの趣旨で記述しています。 「横断的な目標2 新しい時代の流れを力にする」については、Society5.0の視点を踏まえて施策に取り組むとしています。また、SDGsに基づき取り組むとし、p34・35には関連表を掲載しています。 このため、2つの横断的な目標を踏まえた記載となっています。

No.	意見区分	意見要旨	区の考え方		
43	総合戦略	本合Ⅱ 目戦新 標略宿 の区 基総	P.6の記載 「国の基本目標等も勘案し、…」と記載されている。 「国の基本目標」との記載でなく、「国の第二期総合戦略の基本目標」と分かり易く記載してほしい。	A	
44	総合戦略	本合Ⅱ 目戦新 標略宿 の区 基総	P.6の記載 「国の基本目標等も勘案し、…」と記載されている。 都の第二期総合戦略の基本目標については、注釈を加えてほしい。	A	ご意見を踏まえて、修正します。 「新宿区人口ビジョン（改訂版）では、人口推計の傾向が大きく変わらないことから、前回の将来展望を継承しています。
45	総合戦略	標戦Ⅱ 略新 の宿 基区 本総 目合	P.6の記載 「…次の基本目標を定めています。」と記されている。 「次の基本目標は」一期の新宿区総合戦略の基本目標と同じである。何故同じであるか記載してほしい。	A	このため、第二期新宿区総合戦略においても、前回の総合戦略の基本目標を継承することとしました。 そのうえで、国の第2期総合戦略の基本目標（2ページ参照）及び都の総合戦略（29ページ参照）も勘案して、次の目標を定めます。」
46	総合戦略	標戦Ⅱ 略新 の宿 基区 本総 目合	P.6の記載 「…次の基本目標を定めています。」と記されている。 「定めています。」と現在進行形の表記となっている。一期から「次の基本目標」は、継承している事を暗に表現されているのか。表記を再考してほしい。	A	
47	総合戦略	本合Ⅱ 目戦新 標略宿 の区 基総	P.7の記載 表題にイメージ図と記載されている。どの様な意味か。最終報告書でもイメージ図と記載するのか。	F	ご質問に回答します。 人口ビジョンで示す将来展望の実現に向けて、総合戦略の施策に取り組んでいくことを、矢印を用いたイメージ図にまとめています。 策定時と同じ記載とします。
48	総合戦略	のⅡ 基新 本宿 目区 標総 合戦 略	P.7の記載 人口ビジョンに「中長期的展望」と記されている。中長期的展望である事が、「新宿区人口ビジョン」（改訂版）の何処に記載されているか。また、国の人口ビジョン改訂版作成手引き等にその様に記されているのか。教えてほしい。	F	ご質問に回答します。 これまで、国の資料やパンフレットにおいて、人口ビジョンを説明する際に、「中長期展望」「中長期の将来展望」と説明があったことを参考に「中長期的展望」と記述しました。 また、新宿区人口ビジョン（改訂版）と国が示した人口ビジョン作成の手引きには、「将来展望」「長期的な展望」という記述はありますが、「中長期的展望」の記述はありません。 なお、人口ビジョンと総合戦略の担当では連携を図っています。
49	総合戦略	標戦Ⅱ 略新 の宿 基区 本総 目合	P.7の記載 人口ビジョンに「中長期的展望」と記した意図と、人口ビジョン作成担当方の調整が図られているか、教えてほしい。	F	
50	総合戦略	基Ⅱ 本新 目宿 標区 総合 戦略 の	P.7の記載 基本目標、具体的な施策に関しては、詳しく記載されているが、「横断的な目標1、目標2」は、国のフローと内容が変わらない。P6の文章を受け、新宿区総合戦略を実現する横断目標1、2の具体的な施策内容を記載してほしい。	E	ご意見として伺います。 横断的な目標1、2の説明については、p6に記述しています。 また、具体的な施策については、横断的な目標1、2を踏まえ、基本目標1から5の施策の中で、多様な人材の活用や最先端技術の導入（Society 5.0）などを実践していきます。
51	総合戦略	本合Ⅱ 目戦新 標略宿 の区 基総	P.8の記載 「高遠藩主内藤家の屋敷地の一部を上地し」と記載されている。上地の意味の注釈を記載してほしい。 また、「上地」は読めないのでもルビを追記してほしい。	A	ご意見を踏まえて、記述します。 「上地（あげち）⇒江戸時代、幕府や藩に土地を返納すること。」

No.	意見区分		意見要旨	区の方
52	総合戦略	本合Ⅱ 目戦新 標略宿 の区 基総	P.8の記載 「宿場町「内藤新宿」として拓かれ」と記載されている。「拓」は読めないののでルビを追記してほしい。	A ご意見を踏まえて、記述します。 「拓かれ」を「ひらかれ」に修正します。
53	総合戦略	標戦Ⅱ 略新 の宿 基区 本総 目合	P.8の記載 「進取の気象に溢れたまち」 誤字を修正してほしい。	E ご意見として伺います。 「進取の気象」は「従来の習わしにとらわれない」「新しいものを取り入れる」といった意味で用いられる言葉で、「気象」と「気性」のどちらの表記も使われています。 このため、そのままの表記とします。
54	総合戦略	略Ⅱ の新 基宿 本区 目総 標合 戦	P.9～11は、P.5の文章の内容を説明するための表を記載されていると思うが、意味があるか。文章の流れを阻害するだけだと思う。編集を再考してほしい。	E ご意見として伺います。 P.8には、新宿区の特徴として、新宿駅、高層ビル群、産業の集積、昼間人口、学生街、多国籍な街などについて記述しています。 この根拠を分かりやすく説明するために、P.9～11に表やグラフを掲載しています。 記述はそのままとします。
55	総合戦略	略Ⅱ の新 基宿 本区 目総 標合 戦	P.9～11は、P.5の文章の内容のエビデンスと思われるが、添付するのは何故か。本書の読者は、国、地方の方になるので、新宿の現状を知って貰うために記載が必要なデータなのか。	E ご質問に回答します。 国の手引きには、人口ビジョンを踏まえ「それぞれの地域の実情に応じながら、一定のまとまりの政策分野ごとに、戦略の基本目標を設定します。」とあります。 このため、区の実情や地域特性を図表を用いて丁寧に説明して、基本目標を導き出す構成・記述としています。
56	総合戦略	のⅡ 基新 本宿 目区 標総 合戦 略	P.9～11の記載 「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」（R元年 内閣府地方創生推進室）では、記載を求めているのか。	F ご質問に回答します。 地域経済分析システム（RESAS）は経済産業省が提供するシステムで、産業構造や人口動態などのビッグデータを集約し、可視化したものです。メニューは、人口、産業、観光、まちづくり、雇用、医療、福祉など多岐にわたり、色分けしたマップやグラフ、人やモノの動きがイメージできるマップなど、目的に応じて様々な図表を表示することができます。経済産業省のホームページで閲覧することができますので、ご覧ください。 なお、区では、地域経済分析システム（RESAS）のデータを元に、総合戦略用としての図表を作成しています。
57	総合戦略	Ⅱ 新 宿 区 総 合 戦 略 の 基 本 目 標	P.9～11の記載 地域経済分析システム（RESAS）では、P.9～11程度の陳腐な図表しか、表示されていないのか。教えてほしい。	F ご質問に回答します。 地域経済分析システム（RESAS）は経済産業省が提供するシステムで、産業構造や人口動態などのビッグデータを集約し、可視化したものです。メニューは、人口、産業、観光、まちづくり、雇用、医療、福祉など多岐にわたり、色分けしたマップやグラフ、人やモノの動きがイメージできるマップなど、目的に応じて様々な図表を表示することができます。経済産業省のホームページで閲覧することができますので、ご覧ください。 なお、区では、地域経済分析システム（RESAS）のデータを元に、総合戦略用としての図表を作成しています。



No.	意見区分		意見要旨	区の方考え方
58	総合戦略	Ⅱ 新宿区 総合戦略 の 基本 目標	P.12の記載 前段のA, B部分の前置きを基に、「新宿区において・・・」から始まるフレーズにより、新宿区の集客産業の集積の強みによる地方との連携を結論付けた文章となっていると理解する。 A, B部分の文章をコンパクトに簡潔な文章となる様に、再考してほしい。 A 多種多様な企業や人々が集積する～高くなることも検証されています。 B また、商業施設や～向上させていくことが必要です。	E ご意見として伺います。 本文では、区の地域特性として、「多種多様な企業や人々が集積した、利便性や満足度が高いまち」について、分かりやすく丁寧に説明しています。 このため、そのままの記述とします。
59	総合戦略	略Ⅱ の 新 基 宿 本 区 目 総 標 合 戦	P.13の記載 デジタルトランスフォーメーション自体の定義（例えば“進化したデジタル技術を浸透させること人々の生活をより良いものへと変革すること。”“デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること”）を記してほしい。	B ご意見の趣旨は、素案に記述しています。 DX（デジタルトランスフォーメーション）の説明の中に、「ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるデジタルトランスフォーメーション」と記述しています。 ご意見の趣旨と素案の内容は同じと考えます。
60	総合戦略	略Ⅱ の 新 基 宿 本 区 目 総 標 合 戦	P.13の記載 文中のDXの説明文記載を再考してほしい。	E ご意見として伺います。 DX（デジタルトランスフォーメーション）の説明は文献によって様々で、狭義や広義なものがあります。 区では、「平成30年度 情報通信白書」の説明が、新宿区総合戦略の中で説明するのに最も合致すると考えて掲載しました。
61	総合戦略	標 戦Ⅱ 略 新 の 宿 基 区 本 区 目 総 標 合 目 合	P.13の記載 記載のグラフは、P12, 13の文章を説明するグラフか。再考してほしい。	E ご意見として伺います。 P12では、集客都市・新宿として、映画館などの集客施設、ホテル、飲食店が多いことや、産業が集積していること等を説明しています。
62	総合戦略	本 合Ⅱ 目 戦 新 標 略 宿 の 区 基 総	P.14～15の記載 図表は、上記P9～11に記した通り、不要と考える。本文中に、何の説明もない図表は意味がない、不要と思う。	E この根拠として、映画館等の興行場施設数、ホテル・旅館施設数、飲食店営業数、産業別の事業所数などのグラフを掲載しています。 このため、記述はそのままとします。
63	総合戦略	略Ⅱ の 新 基 宿 本 区 目 総 標 合 戦	P.16の記載 関係人口に関し、注釈に国（総務省）の「地域への新しい人口「関係人口」についてポータルサイトで、全国の取り組み事例が記載されている事を、本書に記載し、関係人口を広報することを期待する。	A ご意見を踏まえて、記述します。 「総務省の関係人口ポータルサイト <a href="https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/index.html">https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/index.html</a> 」を記載します。
64	総合戦略	目Ⅱ 新 宿 区 総 合 戦 略 の 基 本	P.16の記載 地方自治体との連携の内容を、P16～P17前段に記載している。都市ごとや、事業別に長文にて記載され、分かりづらい。 連携趣旨別（カーボンオフセット、環境学習、災害協定、物産販売、文化と歴史連携、歴史文化及び観光交流協定）や関係人口創出・拡大事業別や都市別に記す等、簡潔に分かり易く記載してほしい。 このため、表にして記載する事も検討してほしい。	A ご意見を踏まえて、計画素案を修正します。 項目別に見出しを付けて記述します。 なお、事業別の一覧表はp43を参照願います。

No.	意見区分	意見要旨	区の考え方	
65	総合戦略	本合Ⅱ 目戦新 標略宿 の区基 基総	P.16の記載 「内藤新宿の関係」からと記載されている。P 8 から読み進めば分かるが、丁寧、親切な報告書の作成に努めてほしい。	A ご意見を踏まえて修正します。 内藤新宿の説明ページが分るように文章を修正します。 「内藤新宿（8ページ参照）の関係から…」
66	総合戦略	標戦Ⅱ 略新 の宿 基区 本総 目合	P.17の記載 上から5行目まで、文章を再考してほしい。	E ご意見として伺います。 夏目漱石に縁のある地域との連携・交流について主な取組を記載しています。 このため、そのままの記述とします。
67	総合戦略	基Ⅱ 本新 目宿 標区 総合 戦略 の	P.17の記載 「友好提携都市・伊那市との交流と連携による取組を中心」と記載されている。 「中心」と記載されているが、P 1 6 の表題は「目指す」と記され、目標には「連携し発展する」と記されている。上記の文章を再考してほしい。	E ご意見として伺います。 新宿区と地方都市のそれぞれの強みを活かし、日本全体として発展していくことを目指して、「基本目標2 地方と連携し共に発展する」を掲げています。 交流実績のある友好提携都市・伊那市との取組を中心に、地方都市との交流・連携を推進していく趣旨で記述しています。 このため、そのままの記述とします。
68	総合戦略	基Ⅱ 本新 目宿 標区 総合 戦略 の	P.17の記載 「友好提携都市・伊那市との交流と連携による取組を中心」と記載されている。 当目標に関する二次実行計画との調整が図られているかどうか、教えてほしい。	F ご質問にお答えします。 第二次実行計画では、計画事業「区が取り組む地球温暖化対策の推進」で伊那市とのカーボンオフセット事業に取り組み、計画事業「新宿の歴史・文化の魅力向上」で夏目漱石コンクールに取り組むこととしています。 なお、その他の交流事業や災害援助などについては、経常事業で取り組んでいきます。
69	総合戦略	のⅡ 基新 本宿 目区 標総 合戦 略	P.18の記載 年齢区分0～5歳でグラフが作成され、本文中で、当区分年齢での表記がされている。 改訂人口ビジョンの報告書では、0～4歳を年齢区分として表記している。 分析の目的によって、年齢区分の分け方はどちらでも良いのか。教えてほしい。	F ご質問にお答えします。 人口ビジョンでは5歳別の人口の推移と推計を行うため、0～4歳、5～9歳といった5歳毎の区分で示しています。 総合戦略では、本文に就学前の人口が増加していることを記述していることから、そのデータとして、就学前の0～5歳のグラフを掲載しています。
70	総合戦略	略Ⅱ の新 基宿 本区 目総 標合 戦	P.18の記載 基準推計人口の定義を記してほしい。	A ご意見を踏まえ記述します。 「※新宿区人口ビジョン（改訂版）では、「出生中位」の推計人口を「基準推計人口」、 「出生高位」の推計人口を「将来展望人口」としています。」
71	総合戦略	略Ⅱ の新 基宿 本区 目総 標合 戦	P.19の記載 「いわゆるタワーマンションが増加し、地域との関係性など様々な問題があります。」と記載されている。当文章の記載の是非と表記の工夫を検討してほしい。	A ご意見を踏まえ修正します。 「コミュニティの形成における課題などがあります。」に記述を修正します。

No.	意見区分		意見要旨	区の方
72	総合戦略	の II 基 新 本 宿 目 区 標 総 合 合 戦 略	P.19の記載 表の記載は不要と思う。再考してほしい。	E ご意見として伺います。 p 19では、単身者や単身高齢者が多いこと、外国人住民が多いことについて記述しています。その根拠として、区の単身者と単身高齢者の人数、外国人住民の国籍や人数を掲載しています。 このため、そのままの記述とします。
73	総合戦略	の II 基 新 本 宿 目 区 標 総 合 合 戦 略	P20～22上段の記載 本文中に、何の説明もない図表は意味がない、不要と思う。再考してほしい。	E ご意見として伺います。 p 18～19では、合計特殊出生率の低下、高齢化の割合上昇、生産年齢人口の割合低下、単身化の多さ、共同住宅の世帯の多さなどについて記述しています。その根拠として、区の人口ピラミッド、配偶関係の推移、家族類型別推移、住宅別の推移など掲載しています。 このため、そのままの記述とします。
74	総合戦略	略 II の 新 基 宿 本 区 目 総 標 合 戦 戦	P26の記載 「また、高層マンションが多数立地する区の特性を踏まえたマンションの防災対策」と記されている。高層マンションだけ防災対策の取り組みが必要であるとは言えないので、表現を再考してほしい。→共同住宅に住む世帯の割合が非常に高い新宿区の特性を踏まえ、共同住宅等への防災対策	A ご意見を踏まえて修正します。 「また、住宅の約 8 割がマンション等の集合住宅であるという区の特性を踏まえたマンションの防災対策」に修正します。
75	総合戦略	の II 基 新 本 宿 目 区 標 総 合 合 戦 略	P26の記載 「実行計画では、医療物資の計画的な備蓄や・・・」、「実行計画による計画的な備蓄・・・」と記載されている。2か所記載の実行計画は、「二次実行計画」を示すのか。	F ご質問にお答えします。 第一次実行計画でも、医療物資の計画的な備蓄を実施しています。このため、第二次実行計画に限った記載ではなく、実行計画として医療物資の計画的な備蓄を行うといった趣旨で記述しています。
76	総合戦略	の II 基 新 本 宿 目 区 標 総 合 合 戦 略	P27の記載 本文中に、何の説明もない図表は意味がない、不要と思う。(読者への啓発か?)	E ご意見として伺います。 「基本目標 5 高度防災都市化と安全安心の強化」では、本文中に首都直下地震への備えや、犯罪のない安心なまちづくりについて記述しています。このため、参考データとして、建築物の不燃化や耐震化、刑法犯認知数を掲載しています。 このため、そのままの記述とします。
77	総合戦略	基 II 本 新 目 宿 標 区 総 合 合 合 戦 略 の	P28の記載 人口ビジョンで示す目指すべき将来の方向性の副題に「出生率の向上」「人口流入の維持」と記されている。「方向性①、②」の要約が、これに該当するか。再考してほしい。	E ご意見として伺います。 「①若い世代が安心して子育てをすることができるまち」の説明文の要約として「出生率の向上」を記述し、「②「新宿」の強みを活かし、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまち」の説明文の要約として「人口流入の維持」を記述しています。 このため、そのままの記述とします。
78	総合戦略	略 II の 新 基 宿 本 区 目 総 標 合 戦 戦	P30の記載 前後に何の説明もなく、まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）の抜粋が、記載されている。何の参考とするか、教えてほしい。第十条の箇所をアンダーラインで表記しているだけでは、作者の意図は理解できない。丁寧な報告書を作成してほしい。	A ご意見を踏まえ記述します。 p 1の記述に関する参考資料として掲載しています。 このため、「1 ページ 1 人口ビジョン及び総合戦略の趣旨」に関する参考」と記載します。

No.	意見区分		意見要旨	区の考え方
79	総合戦略	の II 基新 本宿 目区 標総 合戦 略	P31の記載 本文に何の説明もなく、参考として「2040年頃から逆算し顕在化する諸課題と自治体行政のあり方」を添付した作者の意図が想像できない。 これを添付したのは、何故か。（区の総合戦略策定の為、作者が参考文献として頭の整理に使用したものか。区民への啓発、広報の為に添付したのか。）	F ご質問にお答えします。 国では「2040年頃から逆算して顕在化する諸課題と自治体のあり方」について示しています。 中長期的な諸課題を示すものであり、将来の方向性を示す総合戦略と関連するものであることから、参考に掲載しています。
80	総合戦略	本合 II 目戦新 標略宿 の区 基総	P31の記載 自治体戦略2040構想研究会は、総務省の研究会である事を明記してほしい。（クレジットの所在が不明なままの記載は、丁寧さを欠いた報告書である。）	A ご意見を踏まえ修正します。 「総務省が設置する自治体戦略2040構想研究会」に修正します。
81	総合戦略	の II 基新 本宿 目区 標総 合戦 略	P31の記載 自治体戦略2040構想研究会の開催趣旨を、自治体戦略2040構想研究会運営要綱を参照し、丁寧に記載してほしい。	A ご意見を踏まえ記述します。 自治体戦略2040構想研究会の開催趣旨については、運営要綱をご覧いただけるよう、総務省のホームページを案内します。 <a href="https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/jichitai2040/index.html">https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/jichitai2040/index.html</a>
82	総合戦略	本合 II 目戦新 標略宿 の区 基総	P31の記載 「目指すべき地方行政の姿」が記載されている。 自治体戦略2040構想研究会報告書に記載された全てか。編集、加筆されていないか。	F ご質問にお答えします。 「目指すべき地方行政の姿」は、自治体戦略2040構想研究会報告書から一部抜粋したものです。
83	総合戦略	略 II の新 基宿 本区 目総 標合 戦	P31の記載 「目指すべき地方行政の姿」が記載されている。 新宿区の「目指すべき地方行政の姿」を記したのか、自治体戦略2040構想研究会報告書からの抜粋か、不明である。どちらか明記してほしい。	A ご意見を踏まえ記述します。 「目指すべき地方行政の姿」は、自治体戦略2040構想研究会報告書から一部抜粋したものです。 「一部をご紹介します」と本文に記述します。
84	総合戦略	け III て目 標の 実現 に向	P35の記載 新宿区の総合戦略におけるSDGsの推進は記載があるが、その他の横断目標である、SOCIETY5.0の推進や多様な人材の活用に関して、どの様に取り組むか記載してほしい。 横断的には、SDGsの推進を中心に取り組み、その他は取り組まないのであれば、その旨を記載してほしい。	E ご意見として伺います。 横断的な目標1, 2の説明については、p6に記述しています。 また、具体的な施策については、横断的な目標1, 2を踏まえ、基本目標1から5の施策（事業）の中で、多様な人材の活用や最先端技術の導入（Society5.0）などを実践していきます。
85	総合戦略	（重 IV K要 P具 I体 ）績 評な 価施 指策 標と	P36～41の記載 見やすい表を作成してほしい。他の表も同様である。	A ご意見を踏まえ修正します。 表の見出しを太字に変更し、見やすいものとなるよう工夫します。

No.	意見区分	意見要旨	区の考え方
86	総合戦略 （K） 重要業績 評価指標	「基本目標 1 賑わい都市・新宿を創造する」 当社グループでは、お客さま先でのCO2排出削減に寄与する温暖化対策を進めている。 具体的には、高効率バーナーを搭載したコンロ、潜熱回収型高効率給湯器(商品名「エコジョーズ」)、天然ガス改質水素を利用した家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(商品名「エネファーム」)等の省エネ機器の普及拡大を通じて、区の地球温暖化対策の実現に協力していきたいと考えている。	B ご意見と方向性は同じです。 総合戦略では、「基本目標 1 賑わい都市・新宿を創造する」を掲げており、施策のひとつに「地球温暖化対策の推進」を示しています。具体的には、区民への意識啓発としての各種講座やコンテスト、省エネルギー機器の設置補助等を実施しています。 引き続き、地球温暖化対策に取り組んでいきますので、ともに取り組んでいただけるようお願いいたします。
87	総合戦略 （K） 重要業績 評価指標	「基本目標 1 賑わい都市・新宿を創造する」 「基本目標 5 高度防災都市化と安全安心の強化」 平時の環境負荷低減や非常時の事業継続に寄与するガスコージェネレーションシステム等の自立分散型エネルギーシステムにより、地域のレジリエンス向上や国土強靱化に貢献する、より強固な都市基盤を構築することができる。 それにより、災害に強く、環境負荷の少ない都市の実現を可能とし、「より魅力的で賑わいのあふれるまちづくり」の一端を担うと考える。 弊社グループでは、スマートエネルギーネットワーク等の普及拡大を通じて、区のまちづくりにおける都市基盤整備に貢献していきたい。	B ご意見と方向性は同じです。 総合戦略では、「基本目標 5 高度防災都市化と安全安心の強化」を掲げており、都市基盤整備による災害に強い逃げないですむまちづくりに取り組んでいます。 また「基本目標 1 賑わい都市・新宿を創造する」では、地球温暖化対策や資源循環型社会の構築に取り組んでいます。 今後も、国土強靱化や環境負荷低減につながる施策を推進していきますので、ともに取り組んでいただけるようお願いいたします。
88	総合戦略 （K） 重要業績 評価指標	「基本目標 2 地方と連携し共に発展する」 基本目標 2 の地方との連携に関して、再生可能エネルギーによる地方との連携を、交流と合わせてすすめてほしい。 例えば世田谷区は、再エネ調達を契機とした地方との自治体間連携を進めている。 <a href="https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/sumai/011/003/d00182578.html">https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/sumai/011/003/d00182578.html</a> 新宿区でもぜひ、長野県伊那市にある長野県企業局の水力発電の電気の区内施設での調達をスタートとし、またそのほかの都市との連携もひろげてほしい。	D ご意見は今後の取組の参考とします。 今後、区では、環境に配慮した電力の調達を一層進めるため、区有施設を対象として、二酸化炭素排出量削減に向けた基本方針を策定していきます。この中で、電力調達について価格面や環境配慮面などを含め、総合的に検討を進めてまいります。 地方との連携として、新宿区は友好提携都市である伊那市と平成 20 年 2 月に「地球環境保全のための連携に関する協定」を締結しています。区は、この協定に基づき伊那市市有林で間伐等の森林整備を行い、樹木の成長を促すことで温室効果ガスである二酸化炭素の吸収量を増大させ、区内で排出した二酸化炭素と相殺する「カーボンオフセット」の取組を継続して実施しています。また、伊那市に開設した「新宿の森」を活用した区民向けの自然体験ツアーを実施しており、多くの区民が伊那市との交流を深めているところです。
89	総合戦略 （K） 重要業績 評価指標	「基本目標 3 子育てしやすいまちとして選ばれる都市をつくる」 放課後子どもひろばと学童クラブの充実に加え、児童館の充実も加えてほしい。小学生の居場所も足りないが、乳幼児、中高生の居場所も少ない。	E ご意見として伺います。 「児童館の充実」については前計画で設定した「指定管理者制度の活用」「中高生にとっての魅力ある居場所づくり」に関して、計画通り進めることができたため、文言として削除しています。 児童館は、児童の健全育成の観点からも必要と考えており、今後も地域の実情に応じて事業内容を工夫しながら事業展開していきます。

No.	意見区分		意見要旨	区の方考え方
90	総合戦略	績 IV 評 具 価 体 指 的 標 な ( 施 策 K P と I ) 重 要 業	「基本目標 4 心豊かに自分らしく生きることができる地域社会の実現」  当社グループも障がいの疑似体験や障がい者スポーツ体験などを通して、相互理解や多様な価値創造へつなげ、障がい者も含め誰もが豊かで快適に過ごせる暮らしやまちづくり、サービスの提供を推進し、共生社会の実現に寄与したいと考えている。	B  ご意見と方向性は同じです。 総合戦略では、「基本目標 4 心豊かに自分らしく生きることができる地域社会の実現」を掲げており、施策のひとつに「障害者がいきいきと暮らし続けられる環境の整備」を示しています。 今後も、互いに理解し支え合い、誰もが自分らしくいきいきと暮らせる地域社会づくりに取り組んでいきますので、ともに取り組んでいただけるようお願いいたします。
91	総合戦略	価 IV 指 具 標 体 ( 的 K な P 施 I ) 策 と 重 要 業 績 評	「基本目標 4 心豊かに自分らしく生きることができる地域社会の実現」  「誰もが住み続けられる住宅・住環境」の取り組みには、住宅・住環境の安全性の向上や高齢者への対応が必要となると考える。 当社グループも、高齢者を含め家族や自宅の安全・安心を確認できるくらし見守りサービスや生活まわり駆けつけサービス、年々増加している空き家の管理サービス等、多様化する暮らしのニーズにこたえるべく、安全・安心な、心豊かな生活全般に関するサービスの充実に取り組んでいる。	B  ご意見と方向性は同じです。 総合戦略では、「基本目標 4 心豊かに自分らしく生きることができる地域社会の実現」を掲げており、住民や企業、NPOなど多様な主体との連携による支え合いのまちづくりが重要であると考えています。 今後も、高齢者の見守りや、安全安心など、区民生活を支えるサービスに取り組んでいただきますようお願いいたします。
92	総合戦略	P 要 IV I 業 具 ( ) 績 体 評 的 価 な 指 施 標 策 ( K 重	「基本目標 4 心豊かに自分らしく生きることができる地域社会の実現」  昨今ヒートショックによる事故が増加している状況を踏まえ、住宅内の温度環境の改善(ヒートショック対策)による温度のバリアフリー化の推進も施策の1つに位置付けてほしい。	E  ご意見として伺います。 寒暖差の影響により体調を崩す場合が考えられます。入浴時の留意点や、住宅内の温度管理など、ヒートショック対策について研究していきます。

**新宿区人口ビジョン（改訂版）（素案）・**

**第二期新宿区総合戦略（素案）に関する**

**パブリック・コメントにおける意見要旨と区の考え方**

印刷物作成番号

2020 - 34 - 2101

発行年月 令和 3 年 2 月

発行 新宿区総合政策部企画政策課  
新宿区歌舞伎町一丁目 4 番 1 号  
電話 03-5273-3502（直通）  
FAX 03-5272-5500

この印刷物は、業者委託により 1,000 部印刷製本しています。その経費として、1 部あたり 80 円（税込）がかかっています。但し、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。